

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373700315
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	一年ほど前に着任となった管理者は運営推進会議メンバーをはじめ近所にも地域への顔つきをおこなっており、日常の挨拶から気軽に立ち話もでき、西瓜、カボチャなど畑で採れた農作物の差し入れもあります。廃品回収への協力も続けていますが、中学校の運動会行事は「コロナ禍で残念ですが～」とご遠慮いただきました旨のお手紙が届くなど、利用者の楽しみとなるお付き合いが途絶えています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は、此処1年程は書面開催となっていて、管理者が2ヶ月分の活動状況を書面にまとめ一宮市窓口を持参のうえ、地域包括支援センターや区長、民生委員、家族代表には郵送で届けています。過去には返信封筒を同封したこともあります。事業所側でも取組みが続かず、メンバーからも1通(地域包括支援センター)返ってきたのみで、当初ねらいとした意見交換には実らず、やや課題が残ります。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護受給者が7名おり、本来ならば来所での面談が年1度程度はあるはずですが、コロナ禍のためか行政の来訪はありません。管理者が生活保護課に出向き、諸所指導を仰ぎつつ連携を図っています。地域包括支援センターからは幾度となく空室の問い合わせがあり、また運営推進会議のメンバーである民生委員からも照会がありましたが、ニーズとシーズが一致せず成立には及んでいません。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族アンケートでは「早期に回答がある」「本人の帰宅願望が大きくなるのは職員のおかげと思う」「話しやすい」といった感謝の言葉が踊り、家族は概ね満足している様子です。利用者は総じて希望、要望がほとんどないということ、「職員が忙しそうで声をかけにくい」との家族意見を併せ、今後は利用者のウオッチの掘り起こしができる職員が育つことを期待します。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								